

鎌倉音楽茶論【ドイツ弦奏紀行】

「カフェサンスーシ」がお贈りするサロンコンサート
バロック・ヴァイオリン・シリーズ 第九弾！



3月11日（日） 14時～
於：カフェサンスーシ
（鎌倉雪の下3-10-23
清泉小正門前）

会費：2600円（珈琲・紅茶付、
ケーキセット +400円）

要予約 0467-23-7223 岡本

18世紀中頃、後期バロック時代のドイツでは、リュートが最後の隆盛を誇っていました。今回は、日本のリュート界屈指の名手をお迎えして、そこに至る弦楽器のソロやアンサンブルの妙なる響きをお届け致します。バロック音楽の精華を、古楽器のデュオで存分にお楽しみください！

演奏曲目 H・I・F Biber 8つのソナタ集より第5番

E・G Baron ヴァイオリンとリュートの為の協奏曲 他

バロック・ヴァイオリン

今 卓也

バロック・リュート

水戸 茂雄

でお贈りします

出演者プロフィール

今 卓也：東京生まれ 6歳よりヴァイオリンを故清水章央氏（N響）に師事
バロック・ヴァイオリンを小野萬里氏、寺神戸亮氏、ジャズを寺下 誠氏に師事
マルチ分野でのヴァイオリンの演奏活動を展開中
古楽アンサンブル「Ensemble Caelestis」代表

水戸 茂雄：スペイン国立オスカル・エスプラ音楽院、マドリッド王立音楽院に学ぶ
帰国後は各地でリサイタル、講習会を開催、桐朋学園などでの招待講師を務める
サントリーホール20周年記念公演特別企画『天正少年使節と音楽の旅』では、
皆川達夫、鈴木雅明らと共に N&S 古楽研究会主宰 日本ピウエラ協会理事